



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3823号 2017.8.8 発行

“ただ”でお金をもらえたら？



Photo: Getty Images

NHK ニュース 2017年8月7日

国から国民全員がただでお金をもらえたら、どうなるでしょうか。一体何のことなのかといぶかしく思う方もいるかもしれません。こんな突拍子もないアイデアが最近、まじめに議論され、実証実験も始まっています。ベーシックインカムという、れっきとした社会保障政策です。格差拡大や貧困という世界共通の課題を解決するための手段として注目されるベーシックインカムの実態に迫

ります。(おはBiz・豊永博隆キャスター)

世界で注目集めるベーシックインカム



フェイスブックの創業者、マーク・ザッカーバーグ氏がことし5月、母校のハーバード大学の卒業式に招かれた際の講演で、こう語りました。

「ベーシックインカムを導入し、みんなが新しいことに挑戦できるようにすべきです」

1月に開かれた世界各国の政治や経済界のリーダーが一堂に会する世界経済フォーラムの年次総会、いわゆる

「ダボス会議」でもベーシックインカムが議論されました。格差拡大や貧困、国民の分断や内向き指向。世界に垂れこめる暗雲はしばしば資本主義のゆがみや限界とも指摘され、どうしたら問題を解消できるかとリーダーたちは真剣になっているのです。

ベーシックインカムとは

注目を集めているベーシックインカムとはどのような制度なのでしょう。

日本語では「基本所得」と訳されますが、「すべての人」に「無条件」で「毎月、一定額」を支給するというのが特徴の社会保障政策です。生活保護や失業手当などの最大の違いは「無条件」ということです。生活保護や失業手当を受給する

ためには所得や仕事の有る無しなどが問われ、行政に書類申請することが必要です。しかしベーシックインカムは、何の制限もなく、自動的に国からお金が振り込まれる仕組みと



なっています。お金はすべての人が対象ですから、生活に困っている人だけでなく、収入の安定した人も、子どもにも全員に給付されるというのが本来の仕組みです。これが“ただ”でお金をもらえらるとしたら」というタイトルの意味です。

日本も深刻 貧困問題

日本も格差や貧困はひと事ではない深刻な問題です。ことし3月時点で生活保護を受けている世帯は1人暮らしの高齢者の増加を背景に164万世帯余りとなり、過去最多。しかも、日本には生活保護を受け取らず、それ以下の水準で暮らしている人の数が800万人とも1000万人とも言われており、行政の支援が届いていない、統計には表れない貧困の問題が深刻だとされています。

世界初 全国規模の実証実験

このベーシックインカム、正式な形で採用した国はまだありません。しかし、北欧のフィンランドはことし1月から2年間の期限を区切り、実証実験を始めています。全国規模で実験を行うのは世界で初めてのことです。

フィンランド ヘルシンキ

実験は全国の25歳から58歳の



Suomessa toteutetaan perustulokokeilu vuosina 2017-2018.
Kela toteuttaa kokeilun.
Sinut on valittu perustulon saajaksi satunnaisotannalla niiden henkilöiden joukosta, joille Kela maksoi työmääräkorvausta tai peruspäivärahaa marraskuussa 2016.
Kokeilusta ei voi kieltäytyä, koska silloin sen tulokset vääristyisivät.

毎月約7万円を支給

mikä se on?
Saat 1.1.2017-31.12.2018 perustuloa 560 euroa/kalenterikuukausi.
Muut tulot eivät pienennä perustulon määrää. Jos osimerkiksi saat palkkaa, sen lisäksi maksetaan myös perustuloa.
Perustuloa ei veroteta.
Perustulon lisäksi voit saada myös muita sosiaalietuuksia. Hae niitä etuuksia, jotka olisivat sinulle ajankohtaisia ilman perustuloakin.
Joistain samalta ajalta maksettavista etuuksista, kuten työttömyysetuudesta, perustulo vähennetään. Perustulokokeiluun osallistuminen ei heikennä taloudellista tilannettasi.

jatkokossa?
Perustuloa saadaksesi sinun ei tarvitse tehdä mitään. Perustulo maksetaan ilman

失業者を対象に無作為で2000人を選び出し、毎月560ユーロ、およそ7万円を支給するというものです。対象者を絞り込んでいる点は本来の「すべての人」という条件には該当しませんが、政策目的は失業や貧困の問題をどう解消するのかという点にあるので、実験としては妥当なものだと思います。

ベーシックインカムは気持ちを変える？

私は実際にフィンランドに行き、この制度によって、生活を立て直すことができたという女性取材しました。首都ヘルシンキから北に500キロ。北緯64度にあるパルタモという町で暮らすマリ・サーレンバーさん30歳。11歳の息子を育てるシングルマザーです。実証実験の対象に選ばれ、ことし1月から月7万円を受け取っています。



サーレンバーさんは去年10月、勤めていたスーパーマーケットを解雇されました。頼りになるのは、月8万円の失業手当だけでした。子どもの教育費や光熱費を払うことで毎日が精いっぱいだったといいます。早く再就職して収入を増やしたいのはやまやまですが、収入を得たとたん、失業手当は減額されてしまいます。そのため、職探しには前向きになれなかったといいます。

ベーシックインカムは減額されることはありません。そのため、7万円を安定した生活費として使い、積極的に仕事をすることにしました。今では印刷所とスーパー、2つの仕事を掛け持ちしたことで、収入は合計で月22万円に上りました。

サーレンバーさんは「とても前向きな気持ちで仕事ができますし、ずっと抱えていた経済的な不安もなくなって安心しています。将来はフルタイムで働いて自分の給料で生活を支えられることを望んでいます」とうれしそうに語っていたのが印象に残っています。

実証実験を行うのはなぜ

フィンランドはなぜこうした社会実験に踏み出したのか。社会保険庁の担当者取材すると、長年にわたって築き上げられてきた手厚い社会保障の仕組みが、これから先も安定して維持できるのか、新しい時代に適合できるのかという根本的な問いが投げかけられているといいます。

また、背景には高止まりした失業率という問題もあります。2016年の失業率は8.8%。リーマンショック、ヨーロッパの信用不安に加えて、フィンランド固有の事情としてロシアとの貿易取引の減少という問題があります。隣国ロシアとはもともと貿易が盛んですが、EU＝ヨーロッパ連合によるロシアへの経済制裁によって、ダメージを受けているというのです。フィンランド政府は2年後に実証実験の効果がどのようなものだったか、検証するとしています。

ソーシャルでは賛否両論！

このベーシックインカムに関する特集を7月27日のNHKおはよう日本で放送したところ、ソーシャルメディアで多くの反響がありました。



おはよう日本 けさのクローズアップ

「資本主義の根本を否定するような政策」

「ちゃんと働く人が減って文句を言う人が増える」

「財源を確保できないだろう」

「無条件ということはその国に行くだけでお金をもらえるとか悪用されて不法移民が来そうで」

という否定意見多数。

一方、

「貧困を乗り越えるための重要な武器になるかも」

「競争原理を部分的に打ち消していく可能性があることは評価する」

「生産性の悪い仕事を駆逐する」

という肯定意見もたくさんありました。

中には「かつてトンデモ扱いされてたベーシックインカムがNHKニュースで報じられるようになる日が来るなんて胸熱」というコメントまでありました。

ちゃんと働く人が減ってしまうのではないかと指摘は、この制度が議題になると必ず出てくる意見です。無条件にお金をばらまいてしまえば、そのお金を遊興費に使ってしまうのではないかと。人々の勤労意欲を奪ってしまい、怠惰な人をうむことになりはしないか

という疑念です。明確にそうならないと断言はできませんが、実際、フィンランドでベーシックインカムを受給している3世帯を取材しましたが、皆さん、それぞれ生活が安定し、人生を前向きに捉え直して新たな挑戦をしているように感じました。

また、財源はどうするのかという疑問は最も本質的な部分だと思います。ベーシックインカムのために増税というのでは到底受け入れられないでしょう。ただ、今の生活保護や失業手当にも多額の予算が使われ、また多くの公務員が審査や職業訓練などの仕事に携わり、行政コストもかかっています。ベーシックインカムは「無条件」ですから審査や訓練というプロセスはありません。実際フィンランドで取材しましたが、ただお金が振り込まれるだけというもので、いたってシンプルでした。「すべての人に給付する」という性格上、年金の一部や児童手当などにとってかわるものもあるでしょう。政府予算のなかでむだな歳出を減らすこと、富裕層に対する課税強化も当然必要だと思います。

新しい発想 求められる時代に

イギリスのEUからの離脱、トランプ政権誕生を目の当たりにして、人々はますます、世界は何かおかしな方向に行っているのではと感じ始めているのではないのでしょうか。何かを根本的に変えないと格差や貧困の問題は解消できないのではないかと。いままでのような豊かさは享受できないのではないかと。そんなときに1つのアイデアとしてベーシックインカムという政策があるように思います。

いきなり導入できるかどうかはさておき、過去のしがらみや常識にとらわれず、新しい発想で考えてみる、そのようなことが求められる時代に私たちが生きているように思います。

恋ってしなきゃダメですか？



NHK ニュース 2017年8月7日

人は誰でも恋をすると思っていないのでしょうか？ 私もその女子大学生に会うまではそう思っていました。私も少しは恋愛してきましたし。でもその学生はそうした感情を持たないため、いや、持たないことを理解してもらえないために苦しんでいました。この文章は「アセクシュアル」という言葉を一人でも多くの人に知ってもらうためにつづります。(ネットワーク報道部 宮脇麻樹記者)

あすかさん(仮名・当時20歳)と初めて会ったのはあるファミリーレストラン。当時からLGBTを取材テーマにしていた私。その当事者に会うという取材でした。直前にももらった、「よく知られているLGBTではないですよ」というメールが少し気がかりでした。

席に着き私が「どんなタイプ(のLGBT)なのですか」と聞くと学生は「“アセクシュアル”なんです」と答えてくれました。アセクシュアル？え？恥ずかしい話、その言葉、私は全く知りませんでした。

「よく知られているタイプではないですよ」

あすかさん(仮名・当時20歳)と初めて会ったのはあるファミリーレストラン。当時からLGBTを取材テ



一マにしていた私。その当事者に会うという取材でした。直前にもらった、「よく知られているLGBTではないですよ」というメールが少し気がかりでした。席に着き私が「どんなタイプ（のLGBT）なのですか」と聞くと学生は「“アセクシュアル”なんです」と答えてくれました。アセクシュアル？ え？ 恥ずかしい話、その言葉、私は全く知りませんでした。

“アセクシュアル”

聞くと、詳しく教えてくれました。

「アセクシュアルは無性愛者とも言われ、恋愛感情を持たない人たち」「私は男性にも女性にも、どの性別に対しても恋愛感情がない」「LGBT、性的マイノリティーの中でも特に少数派」「LGBTの集まりでも理解されないことがある」

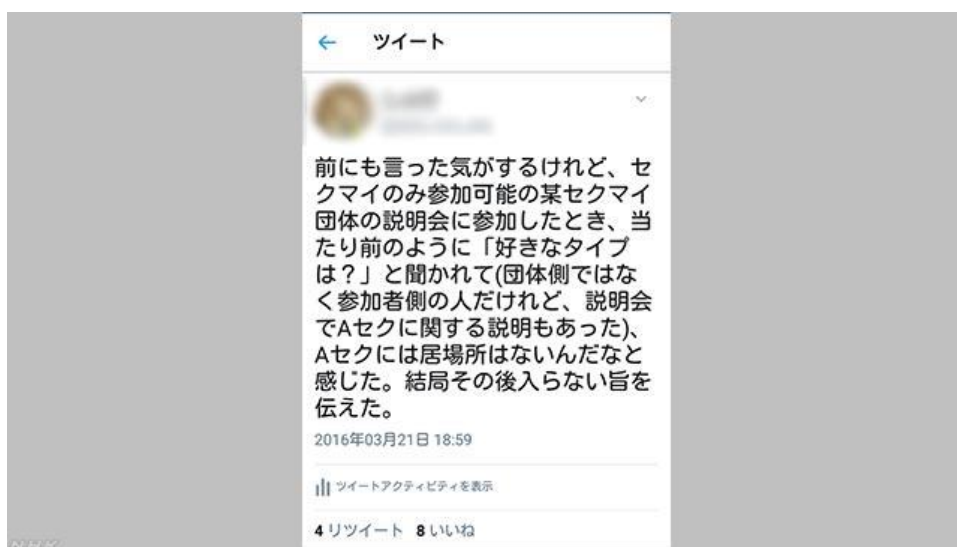
「全部のタイプ、試してみたら？」

あすかさんは中高生の頃から、恋愛の話が苦手でした。

“〇〇さんが好き！”と話す友だちの感覚がわからず、親友から「恋愛の話題になると、スツといなくなるね」と指摘されたこともあり。恋愛の歌、ドラマにも嫌悪感のようなものを覚えました。自分がアセクシュアルだと認識したのは、高校生になってから。学校のパソコンでインターネットを使って調べて気付いたのです。大学でLGBTの人たちで作るサークルに入りました。しかし、安心できる場ではありませんでした。サークルで自分はアセクシュアルだと言った時に、メンバーから思わぬ言葉が、返ってきたのです。

「運命の相手に出会っていないだけだよ」

「全部のタイプのセクシュアリティの人と試してみたら？」



“ここでも理解してもらえないんだ”あすかさんには失望感が残りました。あすかさんのツイッターほかのLGBTの集まりでも疎外感を感じた

LGBTの人たちは当事者同士

の集まりになると、恋愛の話がよく出ることがあります同じ性的指向の人もいるため安心して話ができるのです。ただ、恋愛感情を持たないあすかさんは、集まりの中で「かわいそうな人。未熟な人」と思われているように感じると言います。サークルで恋愛の話に興味があるふりをしているのもつらく、世界に自分の居場所がないように、いま、思っています。家族にも自分を理解してもらえないとは思えず、カミングアウトはしていません。



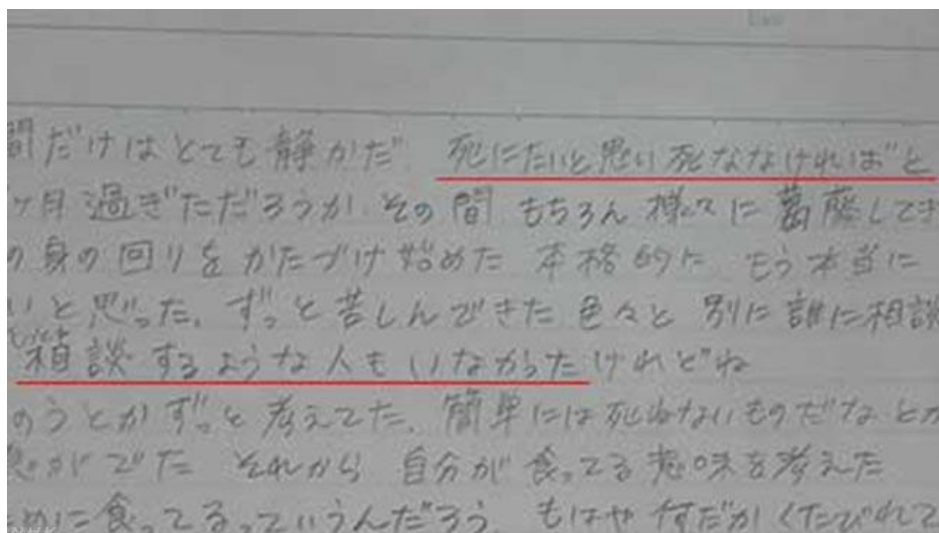
恋をする日が来なかった

アセクシュアルの人の中には、自分がそうだと気付かず、長い間つらい思いをしてきた人もいます。ユズキさん（仮名・43歳）です。

小学校や中学校の時、「誰が好き」と言った話を周りにされても、気持ちが理解できず、自分はオクテで引っ込み思案と思っていたそうです。大人になっても「恋愛感情」は誰にもわきません。人として「すてきだ」と思っても、交際したいとか触れたいとは、一切思わないのです。「自分が世間の常識から外れている」と感じ、人と接することが苦手になっていきました。

引きこもる生活

社会人になり、男性に体を触られる被害を受けたことがありました。恋愛感情がなく、性的なことを考えたことがない自分が性の対象と見られた、それを思うと苦しくなり、カッターを手にして左の手首を傷つけました。食べては吐く摂食障害になり、自宅に引きこもり、苦しさを詩や文にする日々を過ごしました。



ターを手にして左の手首を傷つけました。食べては吐く摂食障害になり、自宅に引きこもり、苦しさを詩や文にする日々を過ごしました。ユズキさんが書いた文章”死にたい”の文字が何度も出てきた立ち直ったけれど



5年前、インターネットで自分と同じような人がいることを初めて知りました。「自分はおかしいわけじゃない、同じ人がほかにもいるんだ」と存在が認められた気がしたそうです。立ち直ったのはそれから。自分のことを認められるようになり、いま福祉関係の仕事をしています。いろいろな人と話をするのが好きな、これまでと違う自分の姿に気付きました。それでもまだ男性と親しくなろうとする時、戸惑うことがあります。



周りから「あの人のこと好きなの？」と言われないか、もしかしたら本人に誤解されないか、それが気になり、自分をどこまで出しているのかがわかりません。

「やっぱり私のことは理解されないと思う」
ユズキさんはまだカミングアウトを、していません。

存在を知ってもらおう

最近になって、アセクシュアルの人たちに焦点を当てて活動をする団体も出てきています。去年、設立した東京のNPO法人、「にじいろ学校」です。

代表理事の今徳はる香さんが、アセクシュアルの友人から、「集まれる場所を作ってほしい」と言われ、交流会を開くようになりました。

最初は、「はたして、何人集まるのか」とインターネットで告知をしたところ、あっという間に、返信が届きこれまでに中学生から70代まで延べ100人以上が参加するようになりました。静岡や大阪、広島など遠方から東京に来る人もいます。同じ指向の人が周りにいない、理解してもらえない人がいない、100人という数はその裏返しです。

パレードではどこよりも目立とうと巨大な旗を手作りした

集まりの場でよく聞くのは、「恋愛しないというと、冷たい人間だと言われたり、どこかおかしいと思われたりする」、「そんな人はいるわけないと、存在自体を否定される」という悩みだそうです。

今徳さんは、認知度の低さがアセクシュアルの人たちの生きづらさにつながっていると感じています。「当事者どうして話し合うだけでなく、存在を知ってもらおう活動も進めたい」と話していて、いまブログで少しずつ、アセクシュアルの人たちが何を感じているのか、

・恋愛についてどう思う？ 恋愛の話を振られたらどうする？ 恋バナの避け方は？

⇒「彼氏いるの?」「彼氏作んないの?」「なんで!? もったいない!」と言われてしまう

⇒ド女子は恋愛の話をしたら打ち解けると思い込んでいる……

⇒自分のことじゃないし、聞く分にはいい

⇒ラブソングは歌えるから、どうでもいい

⇒自分が恋愛の話に出てくるような環境に陥ったら気持ち悪いと思う

⇒恋愛してみたいと思ってる(実験してみたい)けど、相手がない

⇒恋バナ振られる前に、相手が聞いて欲しいワードを探して、こちらから「どうなの?」と聞く

交流会での発言を元に、発信しています。

アセクシャルの人がどう感じているか発言を発信せめて…

私はこう考えます。多数の人の常識があつて、そうでない人がいて。そして

多数の人がそうでない人を知ると、かわいそうとかおかしいとか、直したほうがいいと言ったりする。そこにその人のありのままを尊重しようという気持ちがないと、少数派は生きづらくなるのです。

「アセクシュアルと打ち明けたら『かわいそう』という物差しで見ないでほしい。何が苦手なのか聞いて私を理解してほしい。いやせめて否定しないでほしい」

私に語りかけた大学生のあすかさんの言葉です。

「せめて(私を)否定しないでほしい」

つらい経験の果てに出てきた言葉が耳を離れません。

介護の仕事に、人気がないのはなぜ？

読売新聞 2017年8月8日

「きつい」現状、改善必要 介護の仕事に 人気がないのはなぜ？

Q 若い人の就職先の中で、介護業界は人気が少ないという話を聞くんだけど、どうしてなの？

A 理由としてよく挙げられるのは、「仕事が大変な割に給与が低いから」だ。国の調査では、賞与を含めた介護職の給与は平均で月約26万円。これを世の中の全ての仕事の平均額と比べると、約10万円低い。

こうした待遇の低さも影響して、介護現場で中心的な役割を担う「介護福祉士」を目指す学生は、年々減り続けているんだ。彼らを養成する大学や専門学校では、大幅な定員割れが問題になっているよ。

Q 仕事の価値はお金だけではないと思うけれど……。介護の仕事は大変なの？

A 施設や事業所によって様々だけれど、「きつい仕事」であることを示すデータはある。日本医療労働組合連合会が昨年、介護施設で夜勤をする職員の労働時間を調べたところ、夜勤の日の勤務時間が16時間以上という施設が約6割あった。長時間労働だね。こうした現状もあって、就職や転職の支援を行う企業が学生らに行った調査では、「体力的・精神的にきつい」などの否定的な見方が、肯定的な見方を大きく上回った。

Q それで人気がないのね。働く人は足りているの？

A 介護業界の人気は「景気と反比例する」と言われ、経済が好転すると、待遇の良い他の業種に人材を奪われがちになるんだ。介護の仕事をしたい人1人に対して、どれだけの求人数があるのかを表す有効求人倍率を見ると、今は3倍以上と高い。つまり、人手不足が深刻だ。

入居待ちが全国で約36万人もいる特別養護老人ホームには、ベッドが空いていても高齢者を受け入れられない施設がある。それも、職員が足りないからなんだ。

Q どうすれば、やりたい人が増えるのかしら？

A まずは、給与を引き上げること。国は今年4月から介護職の給与を月平均で1万円積み増したけれど、今後も改善を続ける必要がある。元気な高齢者や外国人など、担い手を広げていくことも必要だろうね。(板垣茂良)

iPSから血小板量産を確立 ベンチャー企業が共同体で 共同通信 2017年8月7日

ベンチャー企業「メガカリオン」(京都市)は、人工多能性幹細胞(iPS細胞)から輸血用の血小板を作り、量産できる製法を、製薬企業などとのコンソーシアム(共同体)により確立したと7日、発表した。

人での安全性や効果を確かめる臨床試験(治験)を日米で2018~19年ごろ実施予定。再生医療等製品として厚生労働省へ申請し、20年の製造販売承認を目指す。

メガカリオンは京都大などから提供を受けたiPS細胞から、血小板のもととなる細胞を作って凍結保存し、解凍して培養し、止血作用がある血小板に変化させる。共同体として血小板の品質確保や保存、分析などに当たる。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

